図書館だより

休館日…12月１日（木）、毎週月曜日
祝日開館日…23日（金）９時～17時
年末年始休館日…12月28日（水）～１月４日（水）

12月13日（火）～27日（火）は、本・雑誌に限り貸し出しの冊数制限をしませんので、たくさんご利用ください（児童書はいつでも何冊でも借りられます）。

★冬のおはなしを楽しむ会

大型絵本やパネルシアターなどで、おはなしを楽しみましょう。

日時…12月３日（土）14時～14時45分
会場…八日市場図書館２階集会室　**対象**…一人で静かにおはなしを聞くことができる４歳からの児童　**参加費**…無料
※クリスマスの本もたくさん用意してあります。この時期にお子さんと一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。

★おはなし会（八日市場図書館）

日時…10・17・24（土）14時から約30分間
問八日市場図書館☎73－3746（17時まで）

★ドリームキッズ（のさか図書館）

日時…17日（土）10時30分～
内容…本の読み聞かせなど
問若林☎67－5965

市政の窓 No.18

確固たる姿勢

TPPとは何物ぞ!!昨年の秋、菅首相が日米首脳会談後に突如TPP発言で国内を騒然とさせました。そして、今年の野田新首相就任後も賛否両論で喧々諤々（けんけんがくがく）。TPPという奴は毎年変わる日本の新首相に対する米国からの踏み絵なのか。はたまた我々国民の知らない何らかの交換条件の一環なのか。ともあれ日本の将来を見据えた慎重な取り扱いと農業を守ってゆくための確固たる姿勢を切に望むものです。

そんな中、今年もそうさ農業まつりが盛大に開催されました。今年一番の秋空の下、実に大勢の市民の参加をいただき、「農業と食」「生産者と消費者の交流」が図られ、参加者も出店団体も満足感一杯に感じられました。のさか太鼓の迫力ある演技に感動し、ちびっ子から大声援を受ける「ソーサマン」の人気の高さに驚き、大トリの「紅白もち投げ」で心地良い汗をかかせていただきました。

もちの次はまんじゅうの話題ですが、先月下旬に匝瑳市の銘菓として売り出そうと「そうさまん」誕生記者会見を行いました。皆さんもご家庭で、また贈答品としてぜひご利用ください。目印は店頭にソーサマン等身大の看板がある和菓子製造販売店です。

また、先日の中学生模擬議会での中学生議員の質問・態度に私たち執行部も大いに勉強させられました。本番である12月定例市議会での一般質問が７日、８日に行われます。ぜひ足を運んでくださるようお願いいたします。

匝瑳市長　太田安規

文芸コーナー

短歌

土屋　耕一　推薦

庭の辺に一叢咲ける曼珠沙華燃ゆるがごとし花のみにして　上谷中　林　かつ
年とれば脳も小さくなるという力落さず前に進まん　生尾　中島　静代
秋の夜をラジオ聞きつつ採（と）れたての胡麻を選り分け更けるを知らず　亀崎　青木　秀子
うっかりし靴履きしまま病室に来し友気付きみんなで笑う　平木　戸村とき子
教職にある嫁常に忙しく帰宅遅きもわれは動けず　八日市場イ　山崎　朝子
朗々と弾き語り披露す弦哲也娘の式場に拍手漲る　八日市場イ　市原　弘
鈴虫の美声につられ外に出づ耳を澄ませば郷愁覚ゆ　上谷中　太田　勇
秋彼岸ひときわ鮮やか鶏頭の赤き花房墓地を彩る　大浦　椎名かね子

俳句

川口　城司　推薦

高度下げ空港に向ふ旅客機の過ぎたる空は秋の夕茜　栢田　渡辺　重雄
皮少し割れたる石榴三日目のけふは光りて紅色の濃き　野手　石田　秀子
秋雨の糸引くごとき雨脚のすすき野わたる風の冷たき　野手　佐藤　晃子
空澄めばため息なんかつかないで老人車で野の道歩こ　今泉　小川みさ子

西野　棠雨　推薦

水門は錆色に暮れ冬めきぬ　登戸　伊藤　さく

暮れの騒動

八日市場を歩く

匝瑳探訪

―67―

ここで紹介する「八日市場」は、市内の住所表記でいうところの「匝瑳市八日市場イ」に限っています。

現在の10町内のうち1670年以前に存在が確認できるのは、田町・本町（1900年以降に東本町、西本町となる）・横町・出羽町（1839年ごろから上出羽町、下出羽町となる）・門前町（見徳寺門前で明治の初めに万町となる）・新田町（明治の初めに仲町となる）の6町内でした。

1662年の家数は315軒で、市域はもとより近隣村々のうちでも最も大きい村で、そのため町内ごとに分けられ生活していました。

1604年に天王宮（現・八重垣神社）の御輿（みこし）が造られた記録があり、祇園祭もこのころには催されていたであろうし、1713年ごろには各町内への御輿渡御（とぎょ）も行われたようです。

それまで在地で生産消費されていた木綿が、1770年ごろから「八日市場木綿」として江戸で流通するようになって町場化が進み、町内で商いをする家も増えたようです。

1807年の記録では、村で商家と思われる屋号の付くものが50余軒を数えました。

村では江戸時代に2度の大火に見舞われました。1840年2月の火事は、田町坂下から見徳寺門前まで延焼し、土蔵40が焼け落ちるほどでした。それから復興して20年ほどした1863年12月、八日市場村は「暮れの騒動」に巻き込まれました。

この動きは世直しや貧民救済を掲げた「真忠組（しんちゅうぐみ）」とよばれる140人余の隊員が商家や豪農などから金品を強奪し、それらを生活に困っている人たちに配る動きでした。市域からは20人ほどが組に加わり、福善寺に支部が置かれました。その行動範囲は、現在の茂原市、東金市から九十九里地域一帯にかけてで、八日市場村では最初に金を要求され、村役人や商人らが100両を差し出しました。このほか、大寺、飯塚、内山、春海村などへも浪士があらわれ金品を出させられました。こうして調達された金は、村役人などを通じて25か村の生活困窮者に配られ、八日市場村へも50両が届けられました。

こうした動きに対し、幕府は翌年1月中旬に近隣の佐倉藩や多古藩に出兵を命じ、真忠組は鎮圧されました。暮れから正月にかけて1か月余の騒動に村びとが巻き込まれたのでした。

問 秘書課広報広聴班 ☎73・0080

真忠組の支部が置かれた福善寺

松風のほかは音なき神の留守　八辺　依知川きよ
母の名はひらがな二文字萩の花　高　伊藤友子
真綿雲西へ急げり神の留守　上谷中　太田三樹夫
時代経し山茶花籬（さざんかまがき）明りかな　八日市場ロ　高安せい子
飛鳥路（あすかじ）の山茶花散るや石舞台　長谷　宇野とし子
かいつぶり湖（うみ）に夕日の道のあり　八日市場ハ　大川宜子
冬淺し天水桶の太き箍（たが）　上谷中　八木佐久司

川口城司 推薦

ふと肩に触るる尾花の誘ふがに　栢田　伊藤定子
冬の海磯打つ波が砂さらふ　堀川　高野操
朝冷えに耐えてジョギング息白し　今泉　野仲妙子

川柳

高梨果宝 推薦

形勢が不利になったらそっと逃げ　長谷　石毛惣一郎
なりゆきに任せ余生をおだやかに　八日市場ホ　鎌形ミツエ
成り行きを見て勝馬に乗る選挙　八日市場ホ　菱木静枝
頼られていた身が何時か頼る身に　八日市場イ　森あつし
待たされてせかされ食べるラーメン屋　春海　久米喃喋
バスツアー何時も遅れる同じ人　八日市場イ　関川幸子
腹の中猫も見抜いて寄り付かず　飯塚　鈴木ツネ子
乾盃の前の挨拶長すぎる　八日市場イ　鈴木十世志

川口城司 推薦

七五三曾孫お祝おめでとう　川辺　加瀬きよ

作品募集中

あて先…匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289―2198
匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73・0080　FAX72・1114